

Shimadzu Tokyo Innovation Plaza が竣工



開会式のテープカット

2023年1月16日に島津製作所として関東地区初となる大規模研究開発拠点「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza」の開所式が行われました。同施設は、ダイワハウスと川崎市が共同開発する研究棟Research Gate Building III内の9,503㎡に4つのラボを展開しており、約100台の分析機器を配置しています。

コンセプトは、「魅せて、つなげるイノベーションプラザ」。顧客と共に新たな分析手法の開発を行なうほか、同社の歴史を紹介するエリアや学会等を開催するホールも併設し、関東地区におけるオープンイノベーション拠点として活用される予定です。

展示スペースやオフィスは、開放的な吹き抜けを囲むように配され、曲線を描いた実験台は、通路からも見学可能となっています。また最上階にはグローバルな事業や地球環境への貢献を象徴する球体Globeを設置し、中は、京ことばの「いち早く」を意味する「一端（いちはな）」に由来するICHIHANA Hallとするなど、来訪者に分析機器や社員を「魅せる」コンセプトを体現しました。

開所に先立って開催されたキングスカイフロント入居者向けの内覧会では同施設の概要紹介の後、複数の班に分かれて施設を見学し、終了後の懇親会でも熱心に質問をする方の姿が見られました。

すでに幾つかの学会やセミナーが招聘され、3月末までで約3000名の来訪があり、同社が目指す新たな知の創造・交流空間からの価値創出が早くも始まっています。

【殿町から世界へ】

企画や立ち上げに携わった同社の担当者は、「キングスカイフロント」に拠点を置く理由について、次のように語っています。

Shimadzu Tokyo Innovation Plazaの特長のひとつはお客様の近くにあるということです。川崎市のキングスカイフロント地区には約70ものヘルスケア関連研究機関や企業が入居しており、技術交流や共同研究が活発に行われています。首都圏のお客様に近いだけでなく、羽田空港に便利なため、国内各地、さらには海外のお客様にも頻繁にご来訪いただけると思っています。お客様のニーズを把握し、新規分析手法や製品開発へ反映させていくことが重要だと考えています。



RINK FESTIVAL 2023 開催

2023年2月17日、第5回かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク (RINK) が3年ぶりのリアル開催となりました。同イベントは、「緩いつながり・新たな出会い」をテーマにRINK会員企業をはじめ、日本各地の事業者や研究者、学生等が、PR・交流する場を創出することを目的にしています。

5つのセッションでは、殿町地区に位置する再生・細胞医療の入居企業から最先科学技術イノベーションの活動への志、バイオコミュニティとしての取り組みや課題そして仲間との連携、再生・細胞医療の産業化における「品質評価」の役割、バイオベンチャーの海外展開など幅広いテーマでディスカッションしました。最後の再生医療業界のTOPランナーによるディスカッションでは、日本の再生・細胞医療の実用化・産業化の促進に向け、活発な意見交換がされました。



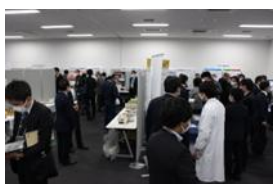
RINK FESTIVAL2022の開催概要はこちら

第1回KFSサイエンスフォーラム開催

2023年2月6日、第1回KFSサイエンスフォーラムを開催しました。エリア内で様々な分野の研究開発に従事する研究者・技術者が、サイエンスやエンジニアリングを介して主体的かつ能動的に情報交換・技術交流することを目的とし、研究発表講演と技術展示・企業展示を兼ねた交流会を行いました。

第一部の研究発表講演では3つの立地機関、国立医薬品食品衛生研究所・実験動物中央研究所・ナノ医療イノベーションセンターが最先端の研究成果について講演しました。

講演に続いて開催された第二部の交流会では、23の立地機関が研究成果・保有技術・製品サービス・事業などを、ポスターや製品展示の形で紹介しました。多くの参加者が活発な意見交換や情報交換を行い、相互理解や新たな発見に繋がる機会となりました。



藤田学園と慶應義塾 連携協定を締結

2023年2月1日、学校法人藤田学園と学校法人慶應義塾は、先端医療・科学技術の発展と社会実装を促進することを目的とし、羽田・殿町地区を中心とした産学公連携活動の推進に取り組むため連携協定を締結しました。両法人が設置する藤田医科大学東京先端医療研究センターおよび慶應義塾大学殿町タウンキャンパスが連携して、再生・細胞医療、遺伝子治療、ロボティクス、データサイエンスの領域において研究開発を実施し、事業化支援、人材育成、施設ならびに設備の共同利用等において協働することで、研究開発の高度化、効率化、加速により、両者の持つポテンシャルを相乗的に発揮し、グローバルにも貢献する新しい先端医療領域の製品・サービスの創成を目指します。

詳細はこちら



脳に作用して全身治療

脳は大変重要な臓器です。それゆえ、脳にはバリアがあって必要な物しか入り込むことができません。脳の薬物治療が難しいのはこのためです。iCONMには、この脳に入り込めるよう設計されたとても小さなカプセル(ナノマシン)があります。このナノマシンに認知症の薬を載せてマウスに投与すると少ない副作用で有効性が確認されたこと、NHKでも最近紹介されました。そして、この「脳内行きナノマシン」を用いた新たな研究がスペインの大学と共同で進んでいます。例えば肥満。全身の脂肪を分解するには大量の薬が必要です。しかし、脳で脂肪代謝を制御する所に働く薬ならばずっと少ない量で効くはずですが。



ここは周囲の脂肪量が多くなると、全身の脂肪を分解するよう指令を出す領域です。そこで、脂肪分解を遅らせる薬を載せたナノマシンをマウスに投与したところ、体重が急速に減少することが実証され、その結果は学術誌 Biomaterials Science 誌に掲載されました。

詳細はこちら

キングスカイフロントPR動画公開 (研究所編)

キングスカイフロント内の4つの研究所、国立医薬品食品衛生研究所・実験動物中央研究所・ナノ医療イノベーションセンター・川崎市健康安全研究所のPR動画を公開しました。

動画の視聴はこちら

購読のご案内

キングスカイフロントの最新情報をお届けするi-Newsletterを購読ご希望の方は、こちらよりお申し込みください。年4回の発行で、購読は無料です。
<https://ws.formzu.net/fgen/S93679955/>

発行日: 2023年4月

発行元: 公益財団法人川崎市産業振興財団
殿町キングスカイフロントクラスター事業部

Mail: pr-ksfcl@kawasaki-net.ne.jp

